



2024年1月 吉日

福岡市海の中道青少年海の家 SDGs 通信



11

編集
SDGsチーム



過去号はこちら

手作りお正月キャンプ

12月2日(土)~3日(日)の2日間で「手作りお正月キャンプ」を行いました。このイベントは、こども達がなかなか体験することのできなくなったお正月の飾り作りや遊びにテーマを当て、日本の文化に興味関心を持ってもらうことを目的として毎年開催しています。イベント中はお正月飾りのミニ門松作りや、自作の凧を海岸であげたり、羽根・木ゴマなどで遊んだり大いに盛り上がりました。特にいい作品となったのは、本物の竹を使ったミニ門松です。竹は古くから人間の生活に大いに関わってきました。

食べ物の「タケノコ」としてはもちろん、しなやかで折れにくい性質上、建物の資材や生活の道具としても使われています。また、空に向かってまっすぐ伸びるため門松のような縁起物としても使われています。

余談ですが・・・

現在は輸入品の食用タケノコや人工竹(プラ竹)の普及によって竹が使われなくなりました。その結果、それまで管理されていた竹林が放置されるようになり、放置竹林となりました。竹は生命力が強く、竹林周りの環境を侵食しています。また、浅く広く根を張るため、大雨の際には周りの土砂を支える力が弱く土砂災害を招いてしまいます。これらをまとめて「竹害」といいます。皆さんもこの機会に竹について調べてみてはいかがでしょうか◎

by いたちよー



↑自作したミニ門松を手に持って、青少年海の～「イエ～イ」

↓ミニ門松の竹選びの様子



↑海岸での凧あげの様子



↑お正月遊びリレーの様子

X'masワークショップ

11月18日(土)福岡市立南市民センターにてクリスマスにちなんだワークショップを開催しました。イベントは2部制で前半は青少年海の家による「まつぼっくり」や「漂流ゴミ」を使ったオーナメント作りです。

参加者の皆さんに制作してもらったオーナメントは、北海岸で採取した流木と漁網で作ったツリーに飾ってSDGsなクリスマスツリーが完成しました。

後半は姉妹施設である背振少年自然の家による「山の素材」を活かしたオーナメントを作り、廃材で制作したツリーに飾りました。参加された方より「お店で購入するおもちゃや道具でなく自然のもので制作が出来とても良い体験ができました」と嬉しい声を頂きました。

みなさんと一緒に制作したSDGsな手作りクリスマスツリーは福岡市立南市民センターの1階にクリスマスまで展示されました。

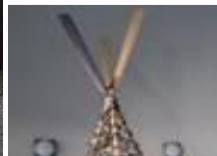
by リムジン



海の家にクリスマスツリー

クリスマスシーズンは街中のイルミネーションやクリスマスツリーにウキウキした気持ちになりますね。そこで海の家スタッフが「海の家にもクリスマスツリーを作ろう」と提案 SDGsを意識した“海の家らしいツリー”をと考えました。カッターボードの樫3本を使って3脚状に組み、漂着物のフロート(ポリテン浮子)を一つずつ掛けてペッパーライトを巻き付け完成!!出来上がったツリーは玄関エントラスで1月末まで華やかに輝いています。

by ママ



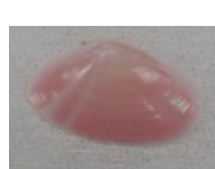
海の家 生き物 図鑑

●マルスダレガイ目 ニッコウガイ科 カバザクラ●

通称「桜貝」と呼ばれ、桜の花びらのような可愛らしい貝です。桜貝と呼ばれる貝は数種類ありますが、北海岸では写真の「カバザクラ」という種類がよく見つかります。

白の薄い2本の線が特徴で、色はピンク→レッド→オレンジ→ホワイトの順で珍しいと言われています。

海の家に来た際には、季節外れの冬の桜をぜひ探してみてください。



by うめ

SDGsクイズ! まずは知ることから

「SDGs」クイズ 第11号編

電力を使用する際に使用している再生可能エネルギーが占める割合は世界平均17.5%ですが、日本での発電電力量に占める再生可能エネルギーの導入率は何%でしょう?

- A: 54%
- B: 24%
- C: 18%

再生可能エネルギーとは、化石燃料ではなく太陽光や風、バイオマスなどの自然エネルギーを利用するエネルギーのことです。

※正解は第12号にて発表!

第10号の回答 C: 5倍

頻発する干ばつ、砂漠化、スーパー台風、豪雨など、近年災害は増加傾向にあります。その増加している災害の影響で、やむなく移動を強いられる人、食糧危機にさらされる人が増えていると言われています。